学校番号	1202

令和８年度　家庭科

教科	専・家庭	科目	(学)生活と保育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	生活学 Navi 資料＋成分表　2026（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの育つ環境づくりや、子どもの発達のための親や家族及び地域や社会の果たす役割について考え、問題点を解決する方法を意見交換しながら考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・保育・家族・衣生活の観点から、生活を改善していくよう考え、そのために必要な知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・子どもの発達のために地域や社会の果たす役割を考え、現代の諸課題を解決する能力を身につける。
【学びに向かう力、表現力等】
・生活の改善だけに留まらず、他者との共生を意識しながら問題解決を行い、学ぶ姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育・衣生活を中心とする生活者として必要な基礎的･基本的な知識･技術を総合的に身につけている。	保育・衣生活を中心とする生活者としての視点から社会を考察し、他者との共生を意識しながら問題解決を行う過程や結果を適切に表現している。	意識的に、保育・衣生活を中心とする生活者としての視点から、課題意識を高め、意欲的に探究するとともに、他者との共生を意識しながら問題解決を行う姿勢。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期 二学期	衣生活	・被服の機能と着装 ・被服材料 ・被服整理と 被服管理 ・被服制作 (手縫い) (ミシン)	a:被服の機能について理解し、被服材料の性能、手入れの方法、制作実習での工程の基礎知識や縫製技術を身につけることによって、被服を適切に選択し、管理することができる。 b:被服材料から特徴に応じた用途を考え、工夫できる。 c:被服制作実習に意欲的に取り組む態度がみられる。	・授業プリント ・小テスト ・観察	・授業プリント ・小テスト ・作品	・観察 ・課題作成
二学期 三学期	保育	・保育について考える ・子どものすこやかな発達 ・子どもの生活遊びと運動 ・子どもの健康管理と事故 ・子どもの福祉 ・制作実習 (児童文化財)	a: 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義、子どもにとって望ましい保育環境について理解している。 b:月齢・年齢に応じた保育者のかかわり方、子どもにとって望ましい保育環境について考えることができる。 c:子どもに関心を持ち、制作実習で自分らしい表現を作品に表すことができる。	・授業プリント ・小テスト ・観察	・授業プリント ・小テスト ・作品	・態度 ・課題作成

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度